

"Great Wall" Street Journal

# 長城街日報

～中国株の現場から～

No.059 (不定期刊行)

東洋証券株式会社  
上海駐在員事務所 所長  
奥山 要一郎  
2007年入社。本社シニアストラテジ  
スト等を経て、2015年より現職



## Catch Me If You Can

「本人確認が厳しくなってねえ……」。配車アプリで呼んだ車のドライバーが苦笑する。「受注時に、まずは顔認証が必要になったんです。なりすましを防ぐためなんです」。中国では、昨年発生したライドシェアの運転手による乗客殺人事件をきっかけにセキュリティ対策が強まっている。ドライバーが、配車アプリの登録運転手と同一人物かどうか、顔認証システムで照合するという。もし異なっていたら受注できない。ホットなビジネスに最新技術が続々導入されている。実に中国らしいスピード展開だ。

★ ★ ★ ★ ★

顔認証システムが生活シーンの中で見られるようになってきた。中国の空港では国内線でも身分証明証 (ID カード。外国人はパスポート) チェックがあるのだが、係員は小型カメラを活用して ID カード上の写真と目の前の人物が一致するかどうかを確認する。ホテルのチェックイン時に写真を撮られることもある。携帯電話の契約時も顔登録が必須だ。

自動販売機の顔認証決済も増えている。使い方はいたって簡単。例えば、アリババ系の支払宝 (アリペイ) のアプリ内で自分の顔を登録し、その使用権限を“授権”する。購入時は、顔を画面やカメラにかざすだけ。代金はアリペイのアカウントから自動で引き落とされる。スマホなしでの“顔パス決済”が完了だ。

顔認証の業界をけん引しているのは商湯科技 (センスタイム) や曠視科技 (メグビー) など大学発のスタートアップ企業。後者は 2020 年に香港市場での新規株式公開 (IPO) も計画中



スマホ不要の“顔パス”で購入完了！

だ。技術は他国と同程度とされるが、ビジネスや生活への応用、すなわち「社会実装」のスピードが速いため、「中国が AI 分野で最先端を走っている」という評価がされやすい。「石橋を叩くだけ叩いて結局渡らない」ことが多い日本とは全く異なる。

新しいことはとりあえず始めてみて、不具合は走りながら改善していく中国。一方、セキュリティやプライバシー上の深刻な問題も出始めている。浙江省では、小学生が親の写真を使い、顔認証ロックがかかった宅配ボックスのカギを解除したという事例が報告された。また、ネット通販サイトで 2000 人分の顔認証データが売買されていたこともあった。なりすまし犯罪の懸念も指摘されている。

中国では、スマホ決済などハイテクサービスはとにかく利便性とスピードが重視され、安全性は二の次として急速に普及してきた。ただ、その代価として様々なリスクの存在を意識する時期に差し掛かっているのかもしれない。

★ ★ ★ ★ ★

そんなことを考えながら迎えた今年のクリスマス・イブの夜。出張先から上海に戻ると、スマホに家人からのメッセージが飛び込んできた。「今、空港に着いたところですよ？」。げげげ。疲れたサラリーマンの後ろ姿

(私だ!) の写真も添付されている。なんでも、知り合いが同じフライトに乗っていて、私を見かけたのだという。それを家人にチクリ……いや、報告したようだ。

灯台下暗し。顔認証や監視カメラどころではない。かなり大げさだが、常に誰かに見られているのでは……。より一層襟を正していこうと誓った聖夜でした。

文中の見解は全て筆者の個人的意見です。写真、グラフ、表なども全て筆者によるものです。

最終頁に重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

## ◆ 注 意 事 項 ◆

### 外国証券等について

・外国証券等は、日本国内の取引所に上場されている銘柄や日本国内で募集または売出しがあった銘柄等の場合を除き日本国の金融商品取引法に基づく企業内容等の開示が行われておりません。

### 手数料等およびリスクについて

#### ①国内株式等の手数料等およびリスクについて

・国内株式等の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2650%（税込み）の手数をいただきます。約定代金の 1.2650%（税込み）に相当する額が 3,300 円（税込み）に満たない場合は 3,300 円（税込み）、売却約定代金が 3,300 円未満の場合は別途、当社が定めた方法により算出した金額をお支払いいただきます。国内株式等を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式等は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ②外国株式等の手数料等およびリスクについて

・委託取引については、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売の場合には差し引いた額）に対して最大 0.8800%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。  
・国内店頭取引については、お客さまに提示する売り・買い店頭取引価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で基準価格を算出し、基準価格と売り・買い店頭取引価格との差がそれぞれ原則として 2.75%となるように設定したものです。  
・外国株式等は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ③債券の手数料等およびリスクについて

・非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスクおよび為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

#### ④投資信託の手数料等およびリスクについて

・投資信託のお取引にあたっては、申込（一部の投資信託は換金）手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。  
・投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ⑤株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

・株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0880%（税込み）の手数をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。  
・株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.400%（税込み）の手数をいただきます。約定代金の 4.400%（税込み）に相当する額が 2,750 円（税込み）に満たない場合は 2,750 円（税込み）の手数をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。  
・株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

### 利益相反情報について

この資料を掲載後、掲載された銘柄を対象とした E B 等を東洋証券（株）が販売する可能性があります。  
なお、東洋証券（株）および同関連会社の役員またはその家族がこの資料に掲載されている企業の証券を保有する可能性、取引する可能性があります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をご覧ください。

この資料は、東洋証券（株）が各種のデータに基づき投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成したもので、投資勧誘を目的としたものではありません。また、この資料に記載された情報の正確性および完全性を保証するものでもありません。この資料に記載された意見や予測は、資料作成時点の見通しであり、予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

この資料に基づき投資を行った結果、お客さまに何らかの損害が発生した場合でも、東洋証券（株）は、理由の如何を問わず、一切責任を負いません。株価の変動や、発行会社の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがありますので、投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

この資料の著作権は東洋証券（株）に帰属しており、電子的または機械的方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

◇商 号 等：東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 121 号  
◇加 入 協 会：日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会  
◇本 社 所 在 地：〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1  
Tel 03 (5117) 1040

<http://www.toyo-sec.co.jp/>

2019年12月27日  
審査部審査済